

2020年度 第1回 CPC研究会 オンデマンド配信

日 時 : 7月13日(金) ~ 17日(金)

視聴方法 : 申し込みをされた方に、配信 URL をご連絡いたします。

なお、配信 URL の再配布、動画のダウンロードや録画は禁止です。

料 金 : 維持会員・大学官公庁関係=無料 / 非会員=30,000 円

申込締切 : 7月10日(金)

<http://cpc-society.org/>

「藻類および糖類の炭素化」

筑波大学 木島 正志 氏

- 1) バイオマスの炭素化について
- 2) 糖類を用いた構造体の調製と炭素化
- 3) 藻類バイオマス、その有効利用と炭素化

一般的にバイオマス原料は多様ですがその特徴をうまく活かすことにより人工合成炭素とは異なる特徴ある炭素を調製することができます。ここでは一般的なバイオマス成分である多糖類や環状オリゴ糖のシクロデキストリンなどの特徴を活かした構造化とそれらの炭素化による多孔質化、炭素化物の特徴についてお話しします。また近年注目されている藻類バイオマスはタンパク質を含むことが特徴ですが、その炭素への効率変換と炭素化物の性質について、これまでに検討した内容をお話しします。

「炭素材料の構造制御と構造解析」

千葉大学 山田 泰弘 氏

- 1) 反応分子動力学計算 (ReaxFF) による炭素材料の構造解析
- 2) 分光分析(XPS、IR、Raman、NMR)と計算による炭素材料の構造解析
- 3) 人工知能による化合物の構造解析
- 4) 炭素材料の構造制御(ピリジニック、ベーサルアミン、フラン、5員環、エッジ等)

多くの炭素材料の構造は極めて複雑で解析が困難なため、構造と特性の関係が不明確でした。そのため構造が明確な種々の芳香族化合物を炭素化し、その反応過程に加え種々の分光分析の解析を反応分子動力学計算や密度汎関数法による計算を用いて詳細に解析しました。現在までにピリジニック、ベーサルアミン、フラン、5員環、エッジ等を多く含む種々の構造制御された炭素材料の調製に成功しています。

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: sec@cpc-society.org または FAX: 029-861-8936

2020年7月の第1回研究会のオンデマンド視聴を希望します。

お名前: 維持会員 非会員 大学関係

ご所属:

Tel:

Fax:

E-mail: